

Soroptimist

INTERNATIONAL OF YAMANASHI

クラブ会報 | No.31 [2006年7月～2007年6月]



認証30周年記念植樹 1年目の「江戸しだれ桜」

国際ソロプチミスト山梨



会長
野口美代子

私の一年

「日は歩き、月は走り、年は飛ぶ」如く歳月の流れは早いものでございました。今期は、リジョン活動指針Best for womenに従って活動をさせて頂きました。

4月22日、23日の両日ホテルニューオータニに於てリン・ダニング連盟会長をお迎えして東リジョン大会が行われました。当クラブは栄えあるゴールデンクラブ賞を受賞いたしましたことは会員各位の活動の成果が評価されたものと同慶の至りに存じます。

6月3日ユースフォーラムの山梨予選会がございました。若い人達の未来の世界にかける切実な思いに胸をうたれたものでございます。

又県では初めての試みとして国際交流センターが「やまなしに住んで思ふ」と題しての外国人による日本語のスピーチコンテストが行われました。外国の方々の方が口を揃えて山梨の自然の豊かさ・富士山の優美さをたたえられ、改めて山梨の良さを再認識いたしました。

私にとりましては一生の思い出になる貴重な一年でございました。奉仕の和を広げ前進出来ましたのも、会員のご協力を頂き支えられたからでございます。心より感謝申し上げます。

教育委員会 日本東リジョン・ユース・フォーラムに向けて

テーマ：いのちを輝かせるために

1. 緑の地球 2. 人々の平等 3. 世界の平和
が必要です。

教育委員会は、主にユースフォーラムに向け活動しました。山梨県内5クラブ合同での山梨予選会が6月3日(日)山梨学院附属高ホールで開かれ、小林是嗣先生の基調講演、英語でのスピーチ、意見交換など行なわれ、23名の高校生(SI山梨クラブからは7名)の世界をみつめる、真摯で真剣な姿に感動を覚え、充実した時がもてました。高校生からユースフォーラムに参加できてよかったという声をきき、青少年が国際的な視野を養うと共に、ボランティア精神や友情を育ててくれることを目的として開催されるユースフォーラムの意義を改めて感じました。これからも、大人の責任の重大さを心にとめ、人を育てることに関わり続けていきたいと思いました。

山梨クラブから、8月19日(日)UNハウス(国連大学)、ウ・タント国際会議場で開かれる、第5回日本東リジョン・ユースフォーラムに、里山知子さん(山梨英和高)、生山沙紀さん(山梨学院附属高)の2人を推薦することになりました。



写真で見る活動



湯田高校奨学金授与



Founder Governor Day



ソロブチミストの森の清掃



チャリティーバザー



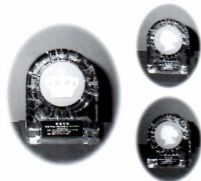
甲府病院 おむつたたみ奉仕



親睦会 あずみ野にて

国際親善と理解委員会 「やまなし外国人日本語スピーチコンテスト」について

平成19年2月3日、山梨県国際交流会、アイオワ会、山梨日本語ボランティアの会の主催、S I山梨の協賛で第1回やまなし外国人日本語スピーチコンテストが開催されました。山梨県在住の18才以上の社会人が出場資格でした。テーマは「山梨に住んで思うこと」を5分間でスピーチし、参加者は15名、中国、ウガンダ、コロンビアなど9ヶ国の出身者が山梨の四季の美しさや果物の美味しさ等を流暢な日本語でスピーチしました。最優秀賞は韓国出身の男性に、優秀賞にはブラジル出身の主婦が選ばれ、野口会長より楯が渡されました。発表後は交流会も開かれS I山梨の会員も多数参加致しました。



環境保険委員会

ことのほか環境問題主に「CO₂の排出」が新聞紙上をにぎわしております。

S I山梨では長い間植樹にかかわってきています。認証10周年記念に立ち上げたS I山梨ソロブチミストの森の育成、認証20周年記念には甲府市立図書館に山法師の木、認証25周年記念には山梨県立文学館にコブシの木、認証30周年記念には山梨県金川の森に、江戸彼岸桜をはじめ50本のクスギ・コナラの植樹。これらを会員一同で見守っています。

山々に囲まれ、東京都民・横浜市民の水源地になっているこの山梨県においても、植樹より森が失われている方が多いのです。未来ある子供達に住みよい環境を残す為にも、日本の風土にあっていくクスギ・コナラの植樹を少しでも多くしていく活動をこれからも続けていきたいと思っております。



認証30周年記念植樹 1年目のクスギの木

スポンサーシップ委員会

藤村学園人形劇の公演が、7月30日(日)ボランティアセンターで行なわれました。7名の部員が大奮闘ななり劇に、ハンドベルに、手品にと子供から大人まで楽しませて下さいました。担当の先生のご指導のもと、たった7人の船出で不安は大きかったけれど、日々の練習、合宿で1つ1つ形になり、公演を迎えることができたとの事でした。若い方々の情熱に接し、私達も目頭が熱くなり感動致しました。先生が、「厳しく苦しい中で皆で力をあわせて仕上げたその思いが、今日の涙になった」と話され、教育の原点に触れる思いでした。

当日は、武蔵野クラブより5名、出演者のご父兄、藤村学園のOG、湯田高校の菊島先生と生徒3名、会員多数が参加致しました。

公演後に、簡単な茶話会もあり楽しい・心暖まる交流の一時でした。



経済的社会的開発 人権／女性の地位向上委員会 12月例会 ミニ勉強会より。

人権とは何でしょうか。

それは、「人間が人間らしく、幸せに生きる為の権利」です。人権は私達一人ひとりの生命や自由平等を保障し、日常生活を支えている大切な権利です。

世界各国では、政治的な問題からそれが守られていない国が多々あります。

今回12月10日の人権デーにあたり、身近な問題について考えてみました。

それは、毎日の様に、テレビ、新聞等で報じられています、子供の人権についてです。

親からの虐待、いじめ、自殺、犯罪の低年齢化、心が痛むニュースが飛び込んできます。私達が子供の頃には無かった問題です。

忙しく過ぎていく時間、目まぐるしく発展していく社会。何か大切なものが失われていく様な……

そんな気がします。

生まれた時から人権はあるのです。私達大人は、どう子供の人権を守ってあげなくてはならないのか。

そんな中で「育てよう一人一人の人権意識」一人一人の身近な子供達から「思いやりの心、かけがえのない命を大切に。」そして、「生かされている命に、いらぬ命はない。」と云うこと。

自分がかげがえのない存在であると同時に、他人もかけがえのない存在である、ということこそ、私達大人が教えていかなくてはならないと、強く感じました。

どうぞ皆様も、お孫さんと、また、身近なお子様と、この機会に考えてみてはいかがでしょうか。

新入会員



志村 千枝子

この度、S I山梨に入会させて頂きまして誠に有難うございます。

地域社会に貢献するために努力するという言葉が私どもの会社の経営理念にあります。奉仕の精神と方法、手段こそ違いますが、世の中のために何かをするということで共通していると思います。奉仕の精神を考えてみますと見返りを求めない精神だと思っております。しかし、見返りを求めたわけではございませんが、他人のために何かをすること、また、できるということは、自然に自分自身が高まり磨かれることになると思います。自分が他人のために尽くせることに携われることはとても幸せなことです。奉仕の精神を学びながらS I山梨の活動に努めさせて頂こうと存じております。

何卒、ご指導ご鞭撻下さいますようお願い申し上げます。

寄付活動

- ・赤い羽根共同募金 (H18年度)
- ・財団法人 日本フォスタープラン協会
- ・NHK助け合い寄付 (ディナー益金)
- ・NHK海外助け合い寄付 (ディナー益金)
- ・山日新聞厚生文化事業団寄付 (ディナー益金)
- ・テレビ山梨厚生文化事業団寄付 (ディナー益金)
- ・山梨ボランティア協会寄付 (ディナー益金)
- ・ガールスカウト賛助会費 (H18年度)
- ・山梨ボランティアセンター寄付 (バザー益金)
- ・湯田高校奨学金 (2名分)
- ・山梨アイバンク寄付 (H18年度)
- ・山梨チャリティラン
- ・タイノンカイ県ハイスクール生徒奨学金 (2名分)
- ・山梨県緑化推進機構緑の募金 (H18年度)
- ・山梨県女性団体協議会会費 (H18年度)
- ・山梨県国際交流協会会費 (H18年度)
- ・湯田高校Sクラブ活動費
- ・日本財団維持費 (H18年度)
- ・国際会長アピール
- ・国際4年期プログラム
- ・連盟災害救援募金
- ・日本東リジョンチャリティー
- ・難民救済
- ・リジョン災害救援金
- ・クラブキャンペーンSIアメリカ寄付金
- ・クラブ賞 (グレイオレット・リチャードソン賞)
- ・心臓移植募金
- ・更正保護女性会

役員名簿

日本剣道教育委員	寺田 岸子		
会 長	野口美代子	副会長	小宮山美知子
(R)セクレタリー	寺田 岸子	理 事	天野 と き
(C)セクレタリー	高村美智子	理 事	入倉美奈子
トレジャラー	井上 昌子	デレゲート	三井 仁代
		デレゲート	風間 雅子

●プログラム委員会

委 員 会 名	委員長名	委 員			
経済的社会的開発 人権/女性の地位向上	岸本	橋田 秋山	三井 兩宮(節)	小林 大友	網倉
教 育	木内	上原 風間	入倉 寺田	島津	
環境保健	矢崎	中村 松垣	高村 井上	谷沢	小宮山
国際親善と理解	田辺	飯田 兩宮(和)	小澤 中丸	三科	富山
スポンサーシップ	坂本	天野 成澤	砂田 飯島	名取 菅沼	

●テクニカル委員会

委 員 会 名	委員長名	委 員			
財 務	三科	小林 網倉	田辺 野口		
規約決議	三井	橋田 兩宮(節)	天野 松垣		
SOLTメンバーシップ	飯島	上原 砂田	大友 谷沢		
SIA奉仕資金	風間	中村 飯田	秋山 高村	坂本	
ソロプチミスト財団	風間	中村 飯田	秋山 高村	坂本	
広 報	兩宮(和)	矢崎 小宮山	木内 寺田	井上	
歳 入	小澤	入倉 中丸	岸本 名取	島津	
出 席	富山	菅沼 成澤			

●2007年6月 編集/広報委員会

国際ソロプチミスト山梨事務局

SOROPTIMIST INTERNATIONAL OF YAMANASHI

甲府市中央3丁目11-5 上原桂子方

TEL 055-233-1190

FAX 055-232-8425